

平成24年度 高等学校入学者選抜学力検査問題

第 2 部

数 学

注 意

- 1 問題は、 **1** から **5** まであり、 7ページまで印刷してあります。
- 2 学校裁量問題は、 **5** です。
- 3 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 4 **3** の問2、問3、**4** の問2、**5** の問3は、途中の計算も解答用紙に書きなさい。それ以外の計算は、問題用紙のあいているところを利用しなさい。
- 5 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、問い合わせで指示されている記号で答えなさい。

1 次の問いに答えなさい。

問1 $x^2 + 2x - 15$ を因数分解しなさい。

問2 下の表は、ある中学校の男子50人のハンドボール投げの記録をまとめたものです。表の中

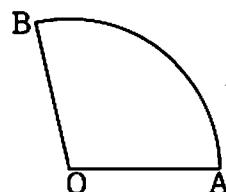
の [ア] ~ [ウ] に当てはまる数を、それぞれ求めなさい。

階級(m)	度数(人)	相対度数
以上 13 ~ 15 未満	2	0.04
15 ~ 17	4	0.08
17 ~ 19	[ア]	0.14
19 ~ 21	10	0.20
21 ~ 23	[イ]	[ウ]
23 ~ 25	9	0.18
25 ~ 27	5	0.10
27 ~ 29	1	0.02
合 計	50	1.00

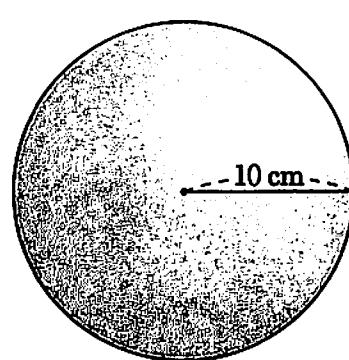
問3 下の図のようなおうぎ形OABがあります。点Oを通り、おうぎ形の面積を2等分する

直線を、定規とコンパスを使って作図しなさい。

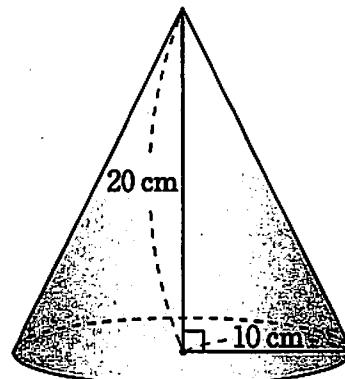
ただし、作図に用いた線は消さないこと。



問4 下の図のように、半径が10cmの球Aと、底面の半径が10cm、高さが20cmの円錐Bがあります。球Aの体積と円錐Bの体積にはどのような関係がありますか。正しいものを、ア～エから選びなさい。



球A



円錐B

- ア 球Aの体積は、円錐Bの体積と等しい。
- イ 球Aの体積は、円錐Bの体積の2倍である。
- ウ 球Aの体積は、円錐Bの体積の3倍である。
- エ 球Aの体積は、円錐Bの体積の4倍である。

問5 連続する3つの整数の性質について、次のように説明するとき、ア～ウに当てはまる式を、エに当てはまる数を、それぞれ書きなさい。

(説明) 連続する3つの整数のうち、真ん中の整数をnとすると、

もっとも大きい整数はア

もっとも小さい整数はイ

と表すことができる。

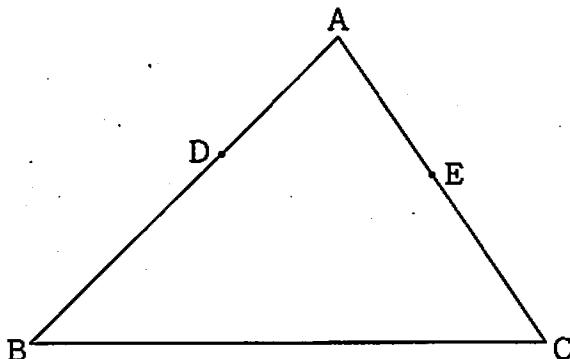
もっとも大きい整数の2乗からもっとも小さい整数の2乗をひくと、

$$(\text{ア})^2 - (\text{イ})^2 = \text{ウ}$$

となる。

よって、連続する3つの整数には、もっとも大きい整数の2乗から
もっとも小さい整数の2乗をひいた値が、真ん中の整数のエ倍となる性質がある。

- 2 下の図のように、 $\triangle ABC$ の辺AB上に点D、辺AC上に点Eがあります。
次の問いに答えなさい。

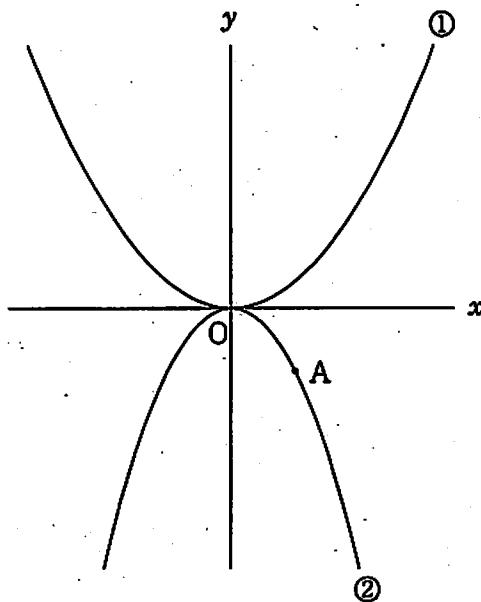


問1 $AD : DB = AE : EC = 1 : 2$, $BC = 12\text{cm}$ のとき、線分DEの長さを求めなさい。

問2 線分DB, 辺BC, 線分CE, 線分DE上にそれぞれ中点F, G, H, Iをとります。
このとき、四角形FGHIが平行四辺形であることを証明しなさい。

- 3 下の図のように、2つの関数 $y = ax^2$ (a は正の定数)……①, $y = -\frac{1}{2}x^2$ ……② のグラフがあります。②のグラフ上に点Aがあり、点Aの座標を(2, -2)とします。点Oは原点とします。

次の問いに答えなさい。



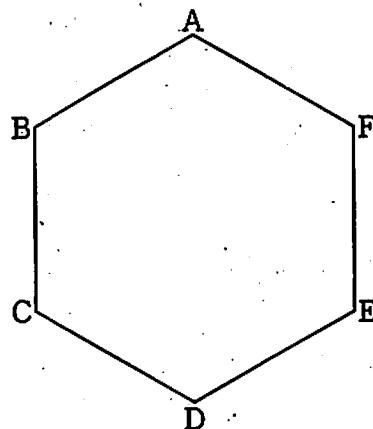
問1 ①のグラフと②のグラフが x 軸について対称であるとき、 a の値を求めなさい。

問2 ②のグラフ上に x 座標が-4の点Bをとるととき、2点A, Bを通る直線の式を求めなさい。

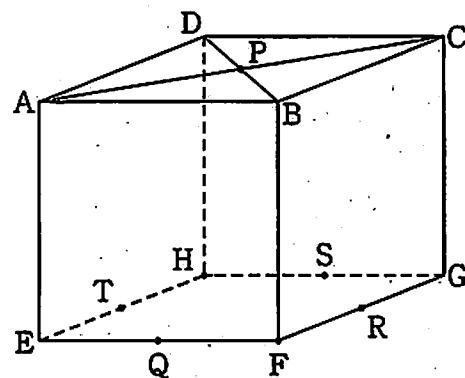
問3 $a = \frac{1}{6}$ とします。①のグラフ上に x 座標が6の点Cをとるととき、 $\triangle OAC$ の面積を求めなさい。

4 次の問いに答えなさい。

問1 下の図のように、1辺が4cmの正六角形ABCDEFがあります。正六角形ABCDEFの頂点A, C, Eを結んでできる三角形の面積を求めなさい。



問2 下の図のように、1辺が6cmの立方体ABCD-EFGHがあります。線分ACとBDの交点をPとし、辺EF, FG, GH, HEの中点をそれぞれQ, R, S, Tとします。点Pを頂点とし、六角形QFRSHTを底面とする六角錐の体積を求めなさい。



学校裁量問題

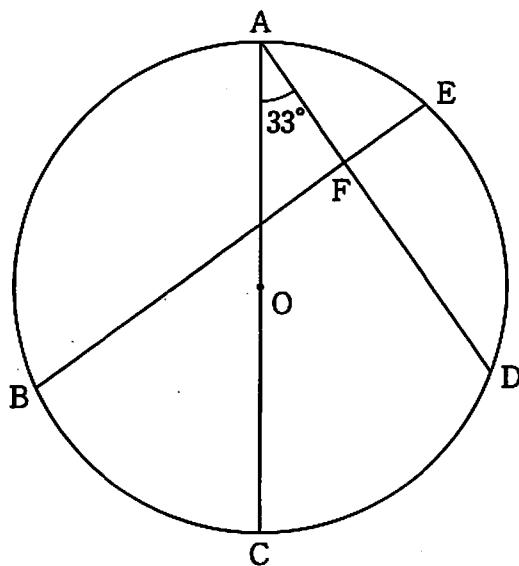
5 次の問いに答えなさい。

問1 2つのさいころA, Bを同時に投げて、Aの出た目を a , Bの出た目を b として、二次方程式 $x^2 + ax - ab = 0$ をつくります。

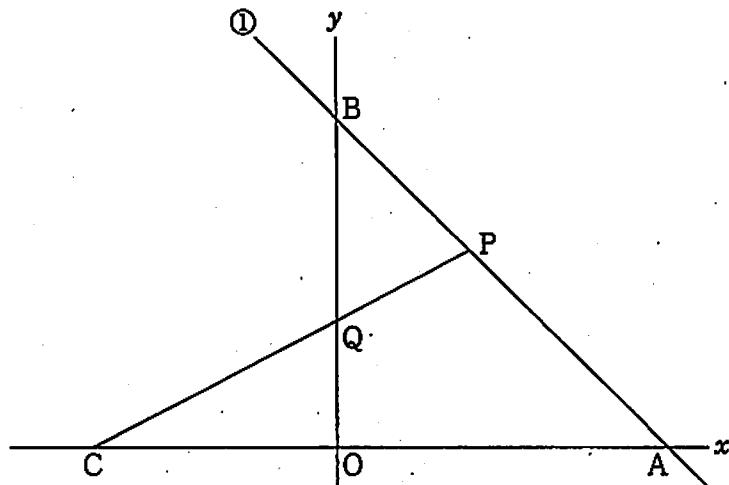
この二次方程式の1つの解が $x = -6$ となるときの a , b の値ともう1つの解を、2組求めなさい。

問2 下の図のように、線分ACを直径とする円Oの円周上に、点B, D, Eをとり、線分ADとBEの交点をFとします。弧ABが弧BCの2倍の長さ、弧DEが弧EAの2倍の長さ、 $\angle CAD = 33^\circ$ のとき、次の(1), (2)に答えなさい。

- (1) $\angle BOC$ の大きさを求めなさい。
- (2) $\angle AFB$ の大きさを求めなさい。



問3 下の図のように、関数 $y = -x + 8 \cdots \text{①}$ のグラフがあります。①のグラフと x 軸、 y 軸との交点をそれぞれ A, B とします。 x 軸上に点 C(-6, 0)を、線分 AB 上に点 P をとり、線分 CP と y 軸との交点を Q とします。点 O は原点とします。
 $\triangle BPQ = \triangle COQ$ となるとき、点 P の座標を求めなさい。



第2部 数学

正 答 表

問題番号	正 答 案						配点	通し番号	採点基準
1	問1	$(x+5)(x-3)$						3	⑧
	問2	ア	7	イ	12	ウ	0.24	3	⑨
	(正答例)							3	⑩
	問3							3	⑪
2	問4	イ						3	⑫
	問5	ア	$n+1$	イ	$n-1$	ウ	$4n$	エ	4
	問1	4 cm						3	⑬
	(正答例)	四角形DBCEの対角線DCをひく。 △BCDで、2点F, Gはそれぞれ線分DB, 辺BCの中点であるから、中点連結定理より、 $FG \parallel DC, FG = \frac{1}{2} DC$① 同様に、△DCEで、 $IH \parallel DC, IH = \frac{1}{2} DC$② ①, ②より、 $FG \parallel IH$③ $FG = IH$④ ③, ④より、1組の対辺が平行で長さが等しいので、四角形FGHIは平行四辺形である。						5	⑭
3	問1	$a = \frac{1}{2}$						3	⑮
	(正答例)	$y = -\frac{1}{2} \times (-4)^2 = -8$ より、点B(-4, -8)① 求める直線の式を $y = ax + b$ とすると、 連立方程式 $\begin{cases} -2 = 2a + b \\ -8 = -4a + b \end{cases}$ を解いて、 $a = 1$②, $b = -4$③ したがって、求める直線の式は、 $y = x - 4$ (答) $y = x - 4$						4	⑯
	問2							5	⑰
	(正答例)	$y = \frac{1}{6} \times 6^2 = 6$ より、点C(6, 6)① 点D(0, 6), 点E(0, -2), 点F(6, -2) とするとき、 △OACの面積は、長方形CDEFの面積から3つの三角形△CDO, △OEA, △AFCの面積をひいたものである。② したがって、 $\Delta OAC = 8 \times 6 - \frac{1}{2} \times 6 \times 6 - \frac{1}{2} \times 2 \times 2 - \frac{1}{2} \times 4 \times 8$③ $= 48 - 18 - 2 - 16 = 12$ (答) 12						5	⑱
4	問1	$12\sqrt{3} \text{ cm}^2$						3	⑲
	(正答例)	底面の六角形の面積は、 $6 \times 6 - 2 \times \frac{1}{2} \times 3 \times 3 = 27$① したがって、求める体積は、 $\frac{1}{3} \times 27 \times 6 = 54$② (答) 54 cm^3						4	⑳
	問2							4	㉑
	問1	$a = 3, b = 6$①, $x = 3$ $a = 4, b = 3$①, $x = 2$						4	㉒
5	問2	(1) 60度 (2) 98度						3	㉓
	(正答例)	$\Delta BPQ = \Delta COQ$ となるとき、 四角形OAPQが共通であるから、 $\Delta OAB = \Delta PCA$ となる。① ΔOAB の面積は、 $\frac{1}{2} \times 8 \times 8 = 32$② 点Pの座標を(a, b)とおくと、 ΔPCA の面積は、 $\frac{1}{2} \times 14 \times b = 32$ よって、 $b = \frac{32}{7}$③ $y = -x + 8$ に、 $x = a, y = \frac{32}{7}$ を代入すると、 $a = \frac{24}{7}$④ (答) 点P($\frac{24}{7}, \frac{32}{7}$)						4	㉔
	(正答例)	2点B, Cを通る直線と2点O, Pを通る直線が平行のとき、 $\Delta BPQ = \Delta COQ$ となる。① 直線BCの傾きは、 $\frac{4}{3}$ であるから、 直線OPの式は、 $y = \frac{4}{3}x$② 点Pは、関数 $y = -x + 8$ と直線OPの交点であるから、 連立方程式 $\begin{cases} y = -x + 8 \\ y = \frac{4}{3}x \end{cases}$ を解いて、 (答) 点P($\frac{24}{7}, \frac{32}{7}$)						6	㉕
	問3							60	

(注) 正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。ただし、中間点の配点は、上記の採点基準以外は認めない。